



北館大学助利長公

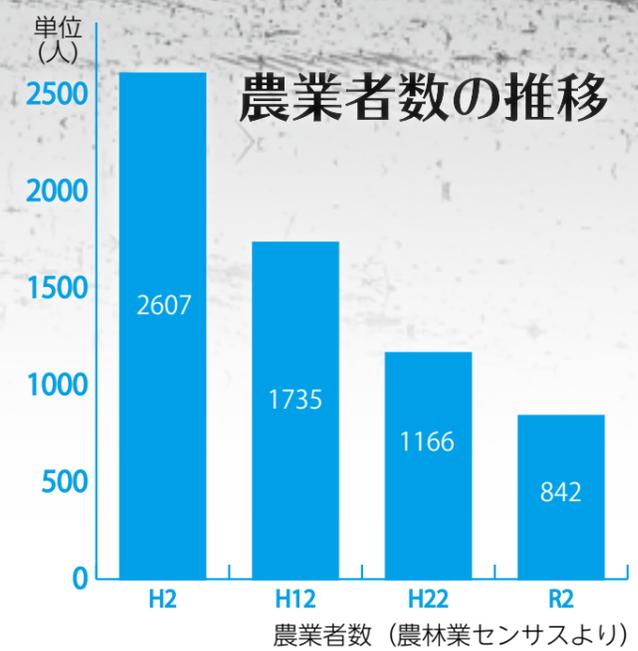
**約** 四百年前、最上義光の命を受けた北館大学助利長が、北楯大堰開削工事を行ったことをきっかけに約5,000ヘクタールの新田と、88もの村が開かれ、庄内町の礎が築かれました。まさに本町はこの新規開田により誕生した町と言っても過言ではありません。

本町には現在、山形県内3位の規模となる約5,700ヘクタールの農地、約5,400ヘクタールの水田があります。また、民間育種家が品種改良に取組み、つや姫やコシヒカリなどのおいしいお米のルーツとなる亀ノ尾や森多早生など優れた品種を生み出している、米の町です。

しかしながら、農業者数は減少の一途をたどっており、農林業センサスによれば、平成2年の2,607人から令和2年の842人と、30年間で3分の1に減少しています。また、令和3年度人・農地プランアンケートによれば、農業の後継者がいる農業者数は122人となっています。このまま推移すると農業者数は現在の7分の1に減少すると見込まれ、農業者一人平均40ヘクタール以上の時代がやってくるかもしれません。

# あす 庄内町の未来を耕そう！

— 新規就農者を応援します —



農業というと、重労働できついイメージに、米の国内需要の減少や米価の低下により儲からない、農業では生活できないと考える人が多いのではないのでしょうか。国内のカロリーベース食料自給率は37%にとどまり、例えば転作作物の代表例である大豆については、我々日本人の食生活に欠かせない作物にもかかわらず自給率はたったの6%に過ぎません。

米の国内需要が今後も減少し続けたとしても、大豆、野菜などまだまだ国内需要が見込める作物はたくさんあります。農業は国民に食料を安定的に供給し、命を守る大事な仕事です。

離農が進む中で、新たに農業に取り組む若く意欲的な就農者も町内にはたくさんいます。次ページではその中から3人をご紹介します。

100ヘクタール農家を  
目指します！



佐藤 裕太さん (榎木)

―就農した時期はいつですか  
大学卒業後23歳の時です。

―就農したきっかけはなんですか  
小さいころから祖父の手伝いで米づくりに関わり、山形大学農学部では農業経営を学び、卒業後地元農家で2年間水稲栽培の基礎を学びました。大学進学時に農業を通して地元庄内のために貢献したいと思ったことがきっかけです。

―宮農内容・農作物のPR  
米・花・野菜の栽培品目で約20ヘクタールの家族経営。つや姫が令和2年庄内松柏会第74回水稲超高品質米品評会県知事賞受賞。猿田町でゲストハウスの経営も行っています。

―農業の魅力ややりがいは何ですか  
頑張った分だけ結果として自分に返ってくる。学んだことを実践で活かせる。

立派に育ったネギ、  
シャインマスカットの  
収穫が楽しみです。



高橋 愛美さん (榎島)

―就農した時期はいつですか  
今年で経営移譲してから2年目です。会社に勤めていた時から農業の手伝いはしていました。

―就農したきっかけはなんですか  
近年女性農業者も増えていることから、祖父に農業の後継者がいなかったため、就農しようと思えました。また、やり方によって、収入の幅が広げられるのも魅力でした。

―宮農内容・農作物のPR  
水稲、露地ねぎ、シャインマスカット、7,8ヘクタール。露地ねぎはまごころなつばの会を通して、学校給食共同調理場へ出荷しています。Aコー

かせて学びに無駄がないこと。経営計画を起こして都度修正を加えながら未来を想像できるのが楽しいです。

―苦勞したまたは苦勞しているところ  
圃場によってクセがあるのでそのクセを把握してそれぞれに応じた管理をすること。米価低迷の中、肥料農薬などの資材価格の高騰にどう対処していくかです。

―農業を通しての将来の夢は何ですか  
「庄内平野を枯らさない」が今の目標です。地域差はありますが農業者の平均年齢が約67歳の現状で、5年10年後の田んぼを守っていくのは私たち担い手です。先祖代々受け継がれてきた米どころ庄内平野の景観をこの先の子ども達にも見せてあげたい。そのためにも日々学んで常識にとらわれずに経営の舵を切りながら、大規模経営を目指します。

―就農を考えている人へのアドバイス  
やりたいことを口に出すというと思います。口にしていけば誰かが教えてくれたり繋げてくれたりしてくれるはず。資金面でも技術習得面でも、新規就農者向けには研修制度や資金制度が用意されています。  
あとは自分が納得できる経営計画を持つことが大事だと思います。そのためにも学び続けることは必要だと思います。

―農業の魅力ややりがいは何ですか  
出荷初め、出荷終わりの達成感。8月〜12月はネギの売上も収入として入ってきます。

―苦勞したまたは苦勞しているところ  
女性就農者の特有の苦勞かもしれないですが、農繁期の家事との両立。夫が家事も農作業も、とても協力的なので助かっていますが、出張で居ない日が続くと辛いです。

―農業を通しての将来の夢は何ですか  
ねぎとシャインマスカットの加工品の製品開発、販売。

―就農を考えている人へのアドバイス  
国の新規就農支援については、計画書、書類が大変でも申請した方が資金面では安心すると思います。分からない時にすぐに相談できる人、話せる人が居ると良いと思います。  
県の農業技術普及課などいろんなところの研修に参加してコミュニティを増やし、様々な方面から支援を受けられるようにしたい方いいと思います。私は農業技術普及課の重点指導対象となっており、シャインマスカットの栽培方法など現地指導を受けています。

# 新規就農の流れ



## 新規就農のご相談

庄内たがわ農業協同組合  
新余目支所営農課  
☎0234-42-1515  
庄内たがわ農業協同組合  
立川支所営農課  
☎0234-56-2077  
余目町農業協同組合  
営農販売部  
☎0234-45-1505  
農林課農政企画係  
☎0234-42-0167

---

農地に関するご相談  
町農業委員会  
☎0234-42-0172

- 就農相談情報収集 農林課農政企画係、各農協にご相談ください
- 農業体験・研修 各農協で相談に応じて対応
- 農業技術・経営管理知識の習得 農林大学校、県農業技術普及課などの研修
- 資金の計画 自己資金、補助金、借入など
- 農地の確保 作りたい作物に合わせた適地適作が重要
- 青年等就農計画の策定 5年後に農業で生計が立てられるよう経営目標を策定。新規作物に取り組むなど、親元就農であっても経営を発展させる計画を立てましょう。
- 認定新規就農者 青年等就農計画を策定し、適当と認められると認定新規就農者となり各種の支援を受けることができます。

平地では難しいと言  
われたリンドウが  
立派に育ちました



株式会社 Hana Clover  
代表取締役 吉泉 大輝さん

―就農した時期はいつですか  
農業高校出身ではありませんでしたが、就農したのは高校を卒業してすぐの19歳です。卒業後すぐに起業しました。2年間町内の花農家のもとで研修を受けました。

―就農したきっかけはなんですか  
雇用されるのではなく、自分から何かを始めたかったからです。

―宮農内容・農作物のPR  
最初はトルコギキョウ、ストックを生産していましたが、独学でより収益性の高い花に転換しました。現在は、菊、ケイトウ、リンドウ、ベビーリーフ、

リーフレタス、エディブルフラワーを作っています。今後はニラ、アスパラ、いちごに挑戦しようと思っています。  
(株)Hana Cloverで農業部門を、(株)ハナクロで卸と販売を行っています。

―農業の魅力ややりがいは何ですか  
第1次産業だから。花の場合、1ヘクタールあたり売り上げ1千万円が目安。頑張った分だけかえってくるのでやりがいがあります。

―苦勞したまたは苦勞しているところ  
思ったよりも重労働が多いため、人材の確保には苦慮しています。現在4人雇用しています。農地も拡大したいのですが、離農する方とうまくマッチングできない状況です。

―農業を通しての将来の夢は何ですか  
なくてはならない企業にすること。太平洋側の宮城県や千葉県などでも農業をやってみたい。周年で農業ができるところに農地を借りて農業をしてみたいです。

―就農を考えている人へのアドバイス  
販売先をしっかりとつこと。地元だけでなく県内の産直や、スーパーに直接交渉しています。断られることもよくありますが、めげずに販売先を探しています。新規作物の栽培方法は、今はネット上にも情報がたくさんあるので便利です。

